

1章 保育の基本と保育内容

1. 保育とは何か
2. 保育の意義と役割
3. 保育方法の中での環境の重要性
4. 養護と教育の一体性

2章 保育内容の理解

1. 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」とは？
2. ねらいと内容の5領域
3. 領域の意義

3章 幼稚園・保育所の制度の変遷から見る保育内容

1. 保育が制度的に整備されていない段階での保育内容
2. 『幼稚園保育及設備規程』以降
3. 幼稚園令以降
4. 戦後の再スタートと保育内容の一新
5. 保育内容「領域」のはじまり
6. 保育内容「5領域」へ

4章 保育の実践的理解

1. 子どもとのかかわりの実践

5章 子どもの健康—保育内容領域「健康」とは—

1. 健康とは？
2. 保育内容領域「健康」とは？
3. 発育・発達とは？
4. 運動遊び

6章 保育のカリキュラム—教育課程・全体的な計画の実際

1. 保育のカリキュラムとは
2. 保育のカリキュラム作成の実際
3. 保育のカリキュラム作成上の注意点とマネジメント

7章 保育の展開—指導案の書き方

1. 指導計画とは
2. 指導案作成のポイント
3. 実際の指導案の提示と解説

8章 保育の記録と評価

1. 記録（日誌）の書き方
2. 実習日誌の実際
3. 保育の評価について

9章 子どもの生活とリスクマネジメント

1. 事故に対する考え方
2. 事故は何故起きるのか？
3. 事故を防ぐために

10章 保育者について

1. 保育者とは
2. 保育者の人間性
3. 保育者自身の職業生活
4. ドイツの保育者養成について
5. 保育者の課題

11章 保育と子育て支援

1. 保育所・保育者に求められるもの
2. 地域における子育て支援の拠点
3. 地域全体で子どもの育ちを保障するために

12章 子どもと遊び 保育教材から考える

1. 子どもと一緒に楽しむ保育教材
2. 保育教材の大切さ
3. 模擬保育について

13章 就学前教育と小学校教育

1. 保幼小連携
2. 保幼小連携における課題
3. 保幼小連携に関する取り組み

14章 子どもと多文化共生

1. 多様性の尊重
2. 英語に触れる教材
3. 行事について

15章 これからの多様な保育に向けて

1. さまざまな保育のかたち
2. 地元から世界へ
3. 現在から未来へ